

～受験は団体戦！～

年が明けてすぐ16,17日に福岡第一高校のパラマ入試が行われ、先週は私立専願入試、そして公立推薦・特色化入試が始まりました。今月7日には私立前期入試を迎え、学業院中学校も本格的に入試モードに突入しました。一足先に初めての受験を経験した生徒の皆さんから、様々な「受験のアドバイス」や「受験で注意すること」などを聞いた人もいます。これから受験する仲間に「頑張ってもらいたい」という思いを伝え合うことは、一緒に受験を乗り越えようとする助け合い、高め合いの表れです。まさに「受験は団体戦」なのです。

「受験は団体戦？ 違うでしょ、個人戦でしょ。だって入試は一人で問題を解くから。結果を出すのも自分次第。」 こういう意見もあります。確かに一理あります。それでも、「受験は団体戦」という言葉は、昔から言い伝えられています。その根拠は何でしょうか。

下は、あるサイトに掲載されていたものです。ちょっと読んでみてください。

結論:たしかに入試当日は、個人戦かもしれません。
そこまでの道のりは「確実に団体戦である」ということです。

「受験は個人戦」だった場合、あなたは独りで受験プレッシャーと戦いながら勉強するでしょう。
そして、あなたが受験で受かろうが落ちようが、誰も喜んではくれないし慰めてもくれない。
これは・・・つらくないですか？

これが「受験は団体戦!」だった場合、あなたはわからないところを先生や友達に聞くことができます。
受験のストレスやプレッシャーを誰かに相談したり、分かち合ったりできます。
あなたが受験に合格したならば、みんなが喜んでくれるし、不合格でも、立ち直るのを手伝ってくれるかもしれません。

孤高の一匹狼として成果を上げるのも悪くないですが、相当しんどいです。
独りでやるより、周りを巻き込んで壁に立ち向かった方が10倍、20倍も楽なのです!!

(「受験は団体戦の真意とは」より抜粋 一部変更しています)

どうですか。受験は団体戦の真意が少しはわかりましたか。来週の私立前期入試では、学年の半数以上の方が入試に挑みます。当然、他の中学校からも多くの受験生が受けに来ます。今まで経験したことのないプレッシャーを感じるかもしれません。その日に「平常心」で全力を出せるように、あなたの学級ではどんな「団体戦」を繰り広げるのでしょうか。

～「面接講座」が行われました～

1月16日(木)、福岡常葉高校の先生をお招きして、「面接講座」が行われました。本校の卒業生による実践的な面接の様子を目の当たりにし、面接の心構えやアドバイスをいただき、入試を間近に控えた生徒たちにとって大変有意義な時間となりました。

面接試験の5原則	
挨拶	→ 心を開いて相手にせまる
身嗜み	→ 人は見かけ(服装) 人は第一印象
表情	→ さわやかに かたくならずに
言葉遣い	→ 受験生らしく 日常生活から
準備	→ 答えは準備しておく
終日面接	朝から面接試験は始まっている



この講座を経て、現在毎日のように放課後行われている面接練習に活かしてください。特に「志望する高校への志願理由」や、「中学校で頑張ったこと」、「高校入学後にやりたいこと」に関しては、必ずと言ってよいほど聞かれる質問ですので、あらかじめしっかりと返答を用意し、練習を重ねておいてください。

2月の行事予定

- ・ 4日(火) 筑後地区私立前期入試
- ・ 7日(金) 福岡地区私立前期入試
- ・ 9日(日) 久留米・有明高専一般入試
- ・ 14日(金) 後期期末考査
- ・ 15日(土) 福岡地区私立後期入試

3月の行事予定

- ・ 4日(火) 公立入試事前指導
- ・ 5日(水) 公立入試
- ・ 6日(木) 3年修了式
同窓会入会式
- ・ 7日(金) 第78回卒業式

保護者の皆様へ

上述したように、いろいろな入試があり、すでに無事合格をして高校入試という大きな試練を終えた生徒もいると思います。学校では「受験は団体戦。最後まで全員で勉強を大事にしよう。」と話しています。ご家庭でも、合格したから終わりではなく、高校生活という次のステップに向けて最後まで中学校生活にしっかりと向き合うように話していただければと思います。